

イブゾール 150

安全データシート

JIS Z 7253 : 2019に準拠

作成日: 1993/06/08 改訂日: 2023/04/01

IPSOL_150_JP09 (JP)_20230401

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 : イブゾール 150
CAS 番号 : 64742-94-5
整理番号 : IPSOL_150_JP09 (JP)_20230401

推奨用途及び使用上の制限

推奨用途及び使用上の制限 :
推奨用途 : 溶剤 等
使用上の制限 : 工業用途

会社情報

製造業者

出光興産株式会社
〒100-8321
東京都千代田区大手町一丁目 2 番 1 号
電話 0120-132-015

緊急連絡電話番号

緊急連絡電話番号 : 0120-015-230 (NCEC)

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理的危険性	引火性液体	区分4
健康有害性	皮膚腐食性／刺激性	区分2
	眼に対する重篤な損傷性・刺激性	区分2A
	発がん性	区分2
	特定標的臓器毒性（単回ばく露）	区分3（麻酔作用、気道刺激性）
	誤えん有害性	区分1
環境有害性	水生環境有害性 短期（急性）	区分2
	水生環境有害性 長期（慢性）	区分2

絵表示（GHS
JP）



注意喚起語（GHS JP） : 危険

危険有害性（GHS JP） : 可燃性液体（H227）
飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ（H304）
皮膚刺激（H315）
強い眼刺激（H319）
呼吸器への刺激のおそれ（H335）
眠気又はめまいのおそれ（H336）
発がんのおそれの疑い（H351）
長期継続的影響によって水生生物に毒性（H411）

注意書き（GHS JP）

- 安全対策 : 使用前に取扱説明書を入手すること。(P201)
 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。(P202)
 熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。
 (P210)
 ミスト、蒸気、スプレーの吸入を避けること。(P261)
 取扱い後は手、前腕および顔をよく洗うこと。(P264)
 屋外又は換気の良い場所だけで使用すること。(P271)
 環境への放出を避けること。(P273)
 適切な保護手袋、保護眼鏡、保護衣、保護面を着用すること。(P280)
- 応急措置 : 飲み込んだ場合:直ちに医師に連絡すること。(P301+P310)
 皮膚に付着した場合:多量の水で洗うこと。(P302+P352)
 吸入した場合:空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる
 こと。(P304+P340)
 眼に入った場合:水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを
 着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
 (P305+P351+P338)
 ばく露又はばく露の懸念がある場合:医師の診察/手当てを受けること。
 (P308+P313)
 気分が悪いときは医師に連絡すること。(P312)
 特別な処置が必要である(このラベルの注意書きを見よ)。(P321)
 無理に吐かせないこと。(P331)
 皮膚刺激が生じた場合:医師の診察/手当てを受けること。(P332+P313)
 眼の刺激が続く場合:医師の診察/手当てを受けること。(P337+P313)
 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
 (P362+P364)
 火災の場合:消火するために適切な消火器具を使用すること。(P370+P378)
 漏出物を回収すること。(P391)
- 保管 : 換気の良い場所で保管すること。(P403)
 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。(P403+P233)
 施錠して保管すること。(P405)
- 廃棄 : 内容物、容器を国、都道府県、市町村の規則に従った場所に廃棄するこ
 と。(P501)

3. 組成及び成分情報

- 化学物質・混合物の区別 : 混合物
 化学名 : Solvent naphtha (petroleum), heavy arom.; Kerosine- unspecified
 別名 : 石油留分

化学物質名	濃度 (%)	化学式	官報公示整理番号		CAS 番号
			化審法番号	安衛法番号	
高沸点芳香族ナフサ	100	Unspecified	(9)-1694	既存	64742-94-5
ト (内 トリメチルベンゼン)	7.8*	C9H12	(3)-7; (3)-3427	既存	25551-13-7
ト (内 1,2,4-トリメチルベンゼン)	2.7*	C9H12	(3)-7, (3)-3427	既存	95-63-6
ㇿ (内 1,3,5-トリメチルベンゼン)	< 0.10*	C9H12	(3)-7, (3)-3427	既存	108-67-8
ㇿ (内 ナフタレン)	2.8*	C10H8	(4)-311	既存	91-20-3

*: 代表値であって、数値は製品全体の中の含有率を示す。

該当法令については 15 項参照

4. 応急措置

応急措置

- 応急措置 一般 : 直ちに医師の診察を受ける。
- 吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
気分が悪いときは医師に連絡すること。
- 皮膚に付着した場合 : 皮膚は多量の水で洗浄する。
汚染された衣類を脱ぐこと。
皮膚刺激が生じた場合:医師の診断、手当てを受けること。
- 眼に入った場合 : 水で数分間注意深く洗うこと。
コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が続く場合:医師の診断、手当てを受けること。
- 飲み込んだ場合 : 無理に吐かせてはいけない。
直ちに医師の診察を受ける。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な兆候及び症状

- 症状・損傷 : 眠気又はめまいのおそれ。
- 症状・損傷 吸入した場合 : 呼吸器への刺激のおそれ。
- 症状・損傷 皮膚に付着した場合 : 刺激性。
- 症状・損傷 眼に入った場合 : 眼刺激。
- 症状・損傷 飲み込んだ場合 : 肺水腫のリスク。

医師に対する特別な注意事項

- 医師に対する特別な注意事項 : 対症的に治療すること。

5. 火災時の措置

- 適切な消火剤 : 水噴霧、乾燥粉末消火剤、泡消火剤、二酸化炭素
- 使ってはならない消火剤 : 強い水流は使用しない。
- 火災時の特有の危険有害性 : 可燃性液体。
- 火災時の危険有害性分解生成物 : 有毒な煙を放出する可能性がある。
- 消火時の保護具 : 適切な保護具を着用して作業する。
自給式呼吸器。
完全防護服。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置

非緊急対応者

- 応急処置 : 漏出エリアを換気する。
裸火、火花禁止、禁煙。
ミスト、蒸気、スプレーの吸入を避けること。
皮膚、眼との接触を避ける。

緊急対応者

- 保護具 : 適切な保護具を着用して作業する。
詳細については、第8項の「ばく露制御/個人保護」を参照。

環境に対する注意事項

- 環境に対する注意事項 : 環境への放出を避けること。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

- 封じ込め方法 : 漏出物を回収すること。
- 浄化方法 : 吸収剤の中で拡散した液体を吸収する。
本製品が下水、または公共用水に流入した場合も、行政当局に通報する。
- その他の情報 : 物質または固形残留物は公認施設で廃棄する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

- 技術的対策 : データなし
- 安全取扱注意事項 : 熱、火花、裸火、高温のもののような着火源から遠ざけること。-禁煙。
個人用保護具を着用する。
使用前に取扱説明書を入手すること。
全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
屋外又は換気の良い場所だけで使用すること。
ミスト、蒸気、スプレーの吸入を避けること。
皮膚、眼との接触を避ける。
- 接触回避 : データなし
- 衛生対策 : 汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
製品取扱い後には必ず手を洗う。

保管

- 安全な保管条件 : 換気の良い場所で保管すること。
涼しいところに置くこと。
施錠して保管すること。
容器を密閉しておくこと。
- 安全な容器包装材料 : データなし

8. ばく露防止及び保護措置

化学物質名	管理濃度	許容濃度(産衛学会)	許容濃度(ACGIH)
トリメチルベンゼン		25ppm(120mg/m ³)	TWA 25 ppm, STEL -
1, 2, 4-トリメチルベンゼン		25ppm(120mg/m ³)	
1, 3, 5-トリメチルベンゼン		25ppm(120mg/m ³)	
ナフタレン	10ppm		TWA 10 ppm, STEL - (Skin)

- 設備対策 : 作業所の十分な換気を確保する。
- 保護具**
- 呼吸用保護具 : 防毒マスク（有機ガス用）、送気マスク、空気呼吸器
- 手の保護具 : 保護手袋（耐薬品性）
- 眼及び／又は顔面の保護具 : 保護眼鏡、ゴーグル、防災面
- 皮膚及び身体の一部の保護具 : 保護長靴（耐薬品性）、保護服、保護前掛
- 個人用保護具シンボル



- 環境へのばく露の制限と監視 : 環境への放出を避けること。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	: 液体
外観	: 無色透明液体
色	: 無色
臭い	: 芳香臭
pH	: データなし
融点	: データなし
凝固点	: データなし
沸点又は初留点及び沸点範囲	: 177 - 213 ° C
引火点	: ≥ 62 ° C (タグ密閉式)
自然発火点	: ≥ 450 ° C
分解温度	: データなし
可燃性	: 可燃性液体
蒸気圧	: データなし
相対蒸気密度 (20 ° C)	: 4.6
相対密度	: データなし
密度	: 0.895 (15°C)
相対ガス密度	: データなし
溶解度	: データなし
n-オクタノール/水分配係数 (log 値)	: > 7.2
爆発限界 下限 (LEL)	: 0.5 vol %
爆発限界 上限 (UEL)	: 6.5 vol %
動粘性率	: 1 - 2.4 mm ² /s at 40° C (ECHA データ)
粒子特性	: データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	: 引火性液体
化学的安定性	: 通常の条件下では安定。
危険有害反応可能性	: 通常の使用条件下において、危険な反応は知られていない。
避けるべき条件	: 高温面との接触を避ける。熱。炎や火花の禁止発火源をすべて断つ。
混触危険物質	: 過酸化物、強酸化剤
危険有害な分解生成物	: 通常の使用条件及び保管条件下において、有害な分解生成物は生成されない。

11. 有害性情報

このセクションの内容は主基油に関する情報であり、イプゾール150の危険・有害性情報はない。

高沸点芳香族ナフサ (64742-94-5)	
LD50 経口 ラット	> 5000 mg/kg (出典: IUCID) 区分に該当しない。
LD50 経皮 ウサギ	> 2000 mg/kg (出典: ECHA API) 区分に該当しない。
急性毒性 (吸入:気体)	データなし。分類できない。

高沸点芳香族ナフサ (64742-94-5)	
皮膚腐食性／刺激性	ヒトでは、26人の上腕皮膚に2日間半密封状態で本物質を投与した2つの試験（GLP）において、刺激性はみられない（IUCLID, 2000）が、臨床試験についての記載で「芳香族溶剤はとりわけ重大な皮膚の一時刺激性をもたらす」（EHC 20, 1982）とある。ウサギを用いた7つの試験では、EHC 20(1982)における3つの試験のうち、ドレイズスコア値2.79（区分2に相当）で「中等度の刺激性」とされる試験と、ドレイズスコア値2.04、2.17（いずれも区分外：国連分類の区分3に相当）で、「中等度の刺激性」とされている2つの試験がある。IUCLID（2000）における4つの試験（GLP）では、「中等度の刺激性」と「軽度の刺激性」が半々にみられる。以上のことから、安全性を考慮して区分2とした。
高沸点芳香族ナフサ (64742-94-5)	
眼に対する重篤な損傷又は刺激性	ウサギを用いた4つの試験のうち、EHC 20(1982)における3つの試験では「中等度の刺激性」とされており、IUCLID（2000）における1試験（GLP）では「軽度の刺激性（Slightly irritating）」とされている。以上のことから、区分2とした。
高沸点芳香族ナフサ (64742-94-5)	
呼吸器感作性	データなし。分類できない。
皮膚感作性	データなし。分類できない。
高沸点芳香族ナフサ (64742-94-5)	
生殖細胞変異原性	マウスの骨髄を用いた小核試験（GLP）で陰性である（IUCLID, 2000）ことから区分に該当しないとした。Ames試験：陰性。
ナフタレン (91-20-3)	
発がん性	： NITEの分類でナフタレンは区分2に該当し、混合物としてイプゾール150中にナフタレンを1%以上含有のため、混合物の分類方法に基づき、区分2とした。
高沸点芳香族ナフサ (64742-94-5)	
生殖毒性	データなし。分類できない。
高沸点芳香族ナフサ (64742-94-5)	
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	ラットを用いた吸入試験（8h）において、鼻と眼の刺激性、協調運動の進行性消失（progressive loss of coordination）がみられる（IARC 47, 1989）。ウサギを用いた経皮試験においては、眠気や運動活動の変化がみられる（RTECS, 2006 元文献：NTIS, National Technical Information Service. OTS0534724）。PATY 5th(2001)では、経口、経皮または吸入経路の急性毒性について、「眼、鼻、のどの刺激性、めまいと吐き気、呼吸困難、中枢神経系の抑制、昏睡」との記載があり、以上の結果から、区分3（気道刺激性、麻酔作用）とした。
高沸点芳香族ナフサ (64742-94-5)	
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	データなし。分類できない。
高沸点芳香族ナフサ (64742-94-5)	
誤えん有害性	炭化水素から成る液体混合物。 40℃における動粘度が1-2.4 mm ² /sであるため、区分1

12. 環境影響情報

生態毒性

このセクションの内容は主基油に関する情報であり、イプゾール150の危険・有害性情報はない。

高沸点芳香族ナフサ (64742-94-5)	
生態系 - 全般	： 水生生物に毒性、長期継続的影響によって水生生物に毒性。

高沸点芳香族ナフサ (64742-94-5)

水生環境有害性 短期（急性）： 区分2、水生生物に毒性
 水生環境有害性 長期（慢性）： 区分2、長期継続的影響によって水生生物に毒性。
 LC50 - 魚 [2] LC50 96h： 2.34 mg/L (Exposure time: 96 h - Species: Oncorhynchus mykiss) (IUCLID)

残留性・分解性

高沸点芳香族ナフサ (64742-94-5)

データなし。

生体蓄積性

高沸点芳香族ナフサ (64742-94-5)

データなし。

土壤中の移動性

高沸点芳香族ナフサ (64742-94-5)

データなし。

オゾン層への有害性

高沸点芳香族ナフサ (64742-94-5)

データなし。

13. 廃棄上の注意

廃棄方法： 許可を得た収集業者の分別回収に準拠して内容物/容器を破棄する。

14. 輸送上の注意

国際規制

道路輸送 (UN RTDG)	海上輸送 (IMDG)	航空輸送 (IATA)
国連番号		
3082	3082	3082
国連正式品名		
環境有害物質（液体）	ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, LIQUID, N. O. S.	Environmentally hazardous substance, liquid, n. o. s.
輸送危険物分類		
9	9	9
		
容器等級		
III	III	III
環境有害性		
環境有害性： 該当	環境有害性： 該当 海洋汚染物質： 該当	環境有害性： 該当

海洋汚染物質： 該当
 IBCコード： 適用されない。

国内規制

海上規制情報	:	船舶安全法の規定に従う。
航空規制情報	:	航空法の規定に従う。
緊急時応急措置指針番号	:	171
その他の情報	:	補足情報なし

15. 適用法令

国内法令

化審法	:	優先評価化学物質（法第2条第5項） 1, 2, 4-トリメチルベンゼン 1, 3, 5-トリメチルベンゼン ナフタレン
労働安全衛生法	:	特定化学物質第2類物質、特定第2類物質（特定化学物質障害予防規則第2条第1項第2, 3号） ナフタレン 変異原性が認められた既存化学物質（法第57条の5、労働基準局長通達） ナフタレン 作業環境評価基準（法第65条の2第1項） ナフタレン 名称等を表示すべき危険物及び有害物（法第57条第1項、施行令第18条第1号、第2号別表第9） 名称等を通知すべき危険物及び有害物（法第57条の2、施行令第18条の2第1号、第2号別表第9） トリメチルベンゼン、ナフタレン 危険物・引火性の物（施行令別表第1第4号） その他の引火点30℃以上65℃未満のもの 特定化学物質特別管理物質（特定化学物質障害予防規則第38条3） ナフタレン 特殊健康診断対象物質・現行取扱労働者（法第66条第2項、施行令第22条第1項、第2項） ナフタレン
毒物及び劇物取締法	:	非該当
消防法	:	第4類引火性液体、第二石油類非水溶性液体（法第2条第7項危険物別表第1・第4類）
海洋汚染防止法	:	油（法第3条第2項）
船舶安全法	:	有害性物質（危規則第2, 3条危険物告示別表第1）
航空法	:	その他の有害物質（施行規則第194条危険物告示別表第1）
道路法	:	車両の通行の制限（施行令第19条の13、（独）日本高速道路保有・債務返済機構公示第12号・別表第2）
化学物質排出把握管理促進法（PRTR法）	:	第1種指定化学物質（法第2条第2項、施行令第1条別表第1） トリメチルベンゼン、ナフタレン

16. その他の情報

参考文献：

- ・NITEデータ、ECHAデータ、自社SDS

免責事項

このSDSは JIS Z 7253(2019)に準拠する。この安全データシートに記載されている情報は、その発行日時点において、我々が知る限りにおいて、および信じるところにより正確であることを証明する。ここに記載する情報は、安全な取り扱い、使用、処理、保管、運搬、廃棄、および放出を安全に実施することを目的としてのみ提供されており、保証または品質仕様を表しているものではない。この情報は、指定された特定の物質にのみ関連するものであり、何らかのプロセスで指定外に他の物質と共に使用した場合、その妥当性は排除される。